

令和4年度 農業青年組織等活動活性化事業

事業主体名 翔南倶楽部

1 目的

農業青年クラブ員は栽培技術を学ぶ場はあるものの、販売に関するノウハウを学ぶ機会が乏しい。今後は販売力向上や新たな販路開拓は重要な課題である。

また、コロナ禍での農産物流通の変化に伴う販売手法を学ぶことも重要と考えられる。そこで、共同プロジェクトおよびセミナーを通じて、以上の課題解決に取り組むこととする。

2 実施状況

(1) 共同プロジェクトの実施（活動内容, 効果）

農作物栽培において、「気象要因や生育などの調査したデータを見える化することで、情報を共有できる。そして、気象要因など、状況に合わせた作物の管理を行う」という基本技術の重要性を見直すため、水稻栽培を用いて温度と水稻生育の関係を調査した。

クラブ員は、気象要因の変化に対応した栽培管理の重要性を再確認し、今後は、それぞれの栽培する作物で、気象要因と生育の関係についてデータ（経験）を積み重ねていく。

(2) 新たな販路開拓に関するセミナーの実施

（活動内容, 効果）

共同プロジェクトで栽培・収穫された米を題材として、ホームページ作成などの新たな販売経路の開拓に関するセミナーを、専門の講師を招き開催した。

今回は、初級編として、パソコン操作の基本やVRの体験などを行った。また、ホームページを作成する上での疑問や注意点など、クラブ員と講師の間で熱心な質疑応答が交わされた。

また、VRの体験から、これらを農作物栽培で活用できないか、リモートでの生育状況の観察や管理方法に繋げることにはできないかなど、講師と意見交換することで、クラブ員同士の研鑽を図ることができた。

3 今後の課題, 取り組み

クラブ員は、まだ就農からの年数が浅いことから、作物の生育と環境要因の影響などに関する経験が少ないので、共同プロジェクトなどを通して経験を深めていきたい。

また、クラブ員同士で興味のあることを挙げて、座学による勉強も行っていきたい。昨年、一昨年と講師を招いて販売に関するセミナーを開催しており、ここで得た人脈も今後の農作物生産および販売活動に活かしていきたい。



写真1 田植え



写真2 収穫



写真3 セミナー(1)



写真4 セミナー(2)